

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
 事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
 編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
 HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和5年12月(2023年)

No.696

課題コンテスト「和」

最優秀賞は合原会長作品に

今年は8作品が出品

恒例の課題コンは、新年の宮中歌会始めの儀で、翌年の御題が決められるので、我がOMCもその御題にあやかって、映像作品を作り、コンテストをやろうという伝統ある行事とし定着してきました。過去の事例でもなかなか良い作品が出て映像発表会への出品も多く出て評判も良いものがありました。今年は、会長が3月～6月期間は作家連の仕事で多忙なので、例年5月第2例会日にやっていた課題コンテストを11月第2例会に延した経緯がありました。ですが延したことが不評なので例年通り5月開催に戻すことにします。

さて今年の課題コンの成績は下記の通りでした。

■ 最優秀賞	最後の和服	7分15秒	15票		合原一夫
■ 優秀賞	大和川付け替え	8分40秒	10票	} 同点2位	江村一郎
〃	和の花街	6分58秒	10票		中村幸子
〃	和歌山四郷	8分00秒	10票		高瀬辰雄
■ 努力賞	和みの旅	5分50秒			岡本至弘
〃	和む庭	9分12秒			高田幸夫
〃	大仙公園平和の塔	4分55秒			上総秀隆
〃	大和国	7分00秒			中川良三

以上8作品。制作された方々、ご苦労様でした

注) 1位3点、2位2点、3位1点の配点で出席者全員の投票で順位を決めるルールです。又上映作品は抽選により決定しました。



12月例会のご案内

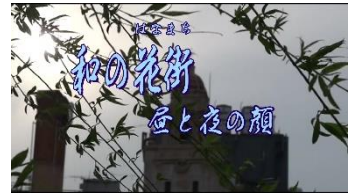
- 12月27日(第4土曜日) 13時開場、13時30分開始、年会費受け付けます。
今年最後の例会日、皆さんと共に楽しいひと時を過ごしましょう。
- 例会当日の9時30分より世話役会を開きます。役割分担の件他、昼食提供

課題コン「和」総評

会長 合原一夫

今年の課題は「和」だったので、比較的取り付き易いテーマだったと思う。8本の作品が出品されたが、以前に比べ少なくなったなあという気持ちであるが、会員数の現状から見て仕方がないか。それではまず上映順に見て見よう。

- ① 「和みの旅」岡本至弘さん；和歌山のあちこちの名所旧跡を歌謡曲をバックにして纏められた一種の歌謡映画。楽しく気安く見られてよいが、あれだけのカットがあれば、「和歌山よいとこ」と云った観光ビデオも出来るのではないかと思ったが如何？
- ② 「和の花街」中村幸子さん；京都にお住いの方だけに、花街に出かけて舞子さん達をしっかりと撮られ、関係者のインタビューも適切に入ってよく出来た作品だが、最後の締め方が物足りない。タクシーが動くところで突然黒幕になって、アレ、終わりかなと思っても「終」も無し、上映が終わったら拍手をしようと思っていたが拍手のきっかけが掴めないまま、会場が明るくなってしまい後味が悪かった。映画やテレビで「終」マークが無いのはスタッフの名前がずらっと出てきたり、コマーシャルが入ったりするがあえて「終」は入れなくともわかるからいいのであって、アマチュアの場合は「終」は入れた方が良い。特に公開映写会の時、映写係に迷惑をかける一因になる。
- ③ 「大和の国」中川良三さん；奈良県大和の国の歴史についてよく調べ、現在復元されつつある古代建築などを含めて、良く描かれた努力作である。
- ④ 「和の庭」高田幸夫さん；ご立派な庭をお持ちで、手入れも大変だろうと思うが、根気よく面倒を見ておられることと思う。それだけに庭は憩いの場を提供する素晴らしい空間であろう。だが、一般の人が見る作品としては、もう少し構成を考え直した方がよい、庭を維持していくために、こんな工夫や苦労があり、野良猫に鉢をひっくり返されたり、せっかく植えた苗が鳥に食べられてしまったとか、糞でそれを取るのが大変とか、或いは鳥が実を食べに来たとか季節の移り変わりと共に、色んな事があったが、結果的に、そんな苦労の末にこんな庭が育ち今楽しんでいる、と云ってマイナス面も入れた構成にしたら、第三者が見たら共感を得る作品になると思う。
- ⑤ 「大和川付け替え」江村一郎さん；歴史ものをよく調べて丹念に現場撮影をされているそのご努力に敬意を表したい。苦労して纏められたが如何せんノンナレでは限界がある。AI 音声でもいいからナレーションの欲しい作品である。
- ⑥ 「最後の和服」合原一夫；最優秀作品に選ばれて光栄である。4：3映像時代に撮っておいたカットを活かして何とかストーリーを作ったものの、我ながら快心の作とっていない。カット不足は免れない。
- ⑦ 「和歌山四郷・柿色に染まる山里」高瀬辰雄さん；串柿づくりの様子を丹念に描かれている。ノンナレでBGMも抑え、現録を最大限に活かしていて、つい雰囲気につい込まれてしまう。なかなか見ごたえのある作品。
- ⑧ 「大仙公園・平和の塔」上総秀隆さん；ガイドの方の説明を良く活かされていて、昭和天皇の植樹祭の記念樹も記録に残されなかった等、興味深い話に、つい見入ってしまった。



映像発表会へ

ご来場の方からお便りと切手が

前略、日毎秋も深まってまいりました。いつもご案内を頂き有難うございました。私こと、腰の手術をしたりと、何かと出歩きが難しくなりましたので、通知案内を遠慮致します。早くに連絡をしたいと思いながら遅くなり申し訳ありません。

益々貴会のご発展をお祈り申し上げます。

松本数一

(注) 84円切手シール(10枚)が同封されておりました。有難う御座いました。

(会長コメント)

長年映像発表会にご来場いただきました事と切手シール送って頂いたお礼として、第63回 OMC 映像フェスティバルのDVDを贈呈させて頂きました。

紙本勝さんから退会届

月日の経つのは早くもう師走の候となり寒さも一段と増してきました。私事ながら日頃は花の世話やら妻の介護・家事などで過ごしております。今年1年 OMC に席を置いて頂きましたが、例会に出席するでなく、会員としての資格が疑問視される状態でした。

去る10月に97歳という高齢にもなり、作品作りも無理ですので今月をもって退会させて頂きます。長い間何かとお世話になり本当に有難うございました。

11月第2例会レポート

11月第2例会は第3木曜日16日午後開催。いつもより少し少な目の11名が集まった。

今日は前半、課題コンテスト、後半は一般作品上映で進行。課題コンは1～2頁に紹介されているため省略する。

- 運営担当：司会 植村、書記 合原、YouTube 関係 中川、映写 中川、上総、記録 江村、受付 照明 宮崎、の各氏
- 出席者：植村、岩井、江村、岡本、上総、合原、高田、高瀬、中川、中村、宮崎の11名
- 一般上映作品（今月の書記は合原会長）

1、光影幻想 DVD
合原一夫 4分00秒

(作者コメント)

このような心象映画みたいな作品を作ったのは、後にも先にもこの一作だけである。



彫刻の展示会の作品を撮りに行ったが、映像作品としてまとめ方が思いつかず、道頓堀のネオンの光や教会のステンドグラスの絵図等ミックスして作った我ながら不可思議な作品となってしまった。心象映画の難しさを実感した作品である。
(平成12年作・2000年)

2、亀岡祭り 山鉦が行く BD
高瀬辰雄 8分40秒

(作者コメント)

毎年10月25日に行われる亀岡・鍬山神社の祭礼です。山鉦が11基、巡行するのですが、山鉦を曳くのも、お囃子、音頭取り等子供が主役で、祇園祭の子供版といった感じのまつりです。人出もそれほど多くなく、特に厳しい規制もなく、撮影は比較的楽でした。



(会長コメント)

亀岡にも京都祇園祭りのミニ版のような祭りがあるとは初めて知ったが、ここは子供や女性が主役とあつ

て、京都とは違うぞと主張しているように思えた。ノンナレ作品だが
雰囲気は充分伝わってきた。

3、2023 グランフロント大阪クリスマスツリー DVD

江村一郎 5分00秒

(作者コメント)

タイトルは長いが作品は短い。

先日と歌山ビデオ映像祭で「優しいビデオ教室」の受講生が制作した1分40秒～2分の作品がありました。スマホによる編集でしたが印象に残りました。映写時間が短い方が伝わりやすいようです。それに倣って私の作品はスマホではないがデジカメで撮り、グランフロント大阪10年目の一足早いクリスマスツリーを少し長く5分にまとめました。

(会長コメント)

スマホによる短編作品を見て、一つ自分も短編に挑戦してみようと作られたのがこの作品。それならばこの作品もテンポよく半分の時間に纏めたら印象も違った作品になるに違いない。



11月通常例会レポート

11月も終わりに近づき日中の気温が一桁台になり、秋から冬へと急速に進み出した感がする中、通常例会は、第4土曜日の25日13時より難波市民学習センターで開催、珍しく山口県より、河口会員が元気な顔を見せられた。また、新入会員の道下会員が初めて作品を持参され、15名の会員と9本の作品で合原会長の司会で進行された。

- 運営担当：司会 合原、書記 岡本、YouTube 関係 中川、映写 上総 坪井、記録 江村、受付照明 宮崎、大久保の各氏
- 出席者：岩井、江村、大久保、岡本、上総、河口、合原、高瀬、坪井、鉄具、中川、道下、宮崎、森下、山本の15名
- 上映作品（今月の書記は岡本副会長）

1、長野高校陸上部同窓会 BD 道下敏行 7分45秒

(作者コメント)

10年振りに長野高校陸上部の同窓会が同学校内の食堂で開催され、その様子を撮影した。

(書記コメント)

先月の例会に見学に来られた道下敏行さん、今月より入会しますと、作品持参でこられ、トップバッターで上映された。ご自身の出身校である、長野高校陸上部の同窓会がこの9月に、10年ぶりに母校の食堂で開催された模様をまとめられたもの。当時の写真を織り交ぜながら、なかなかうまくまとめられていて記録ビデオになりました。ただ、同窓生のおしゃべりが最後に出ているだけで、ほとんど消されているのが残念です。このような記録ビデオは臨場感が正に記録なので残された方がよいと思います。挿入されている曲は、音量を下げたりコントロールして調整してみてください。作品名、作者名、エンドマークは入れるようにしましょう。次回からも作品を期待していますので頑張ってください。



2、奨真くんの七五三 BD 岡本至弘 9分30秒

(作者コメント)

孫（奨真）5歳の七五三詣りの模様をホームムービーとしてまとめてみました。作品とするには材料不足かもしれませんが持ってきました。司会者より、これまでの生い立ちなど入れて作品にしてはどのアドバイスをいただきました。



3. 呉散策

BD

山本正夢

10分20秒

(作者コメント)

呉観光で「へり空母 かが」を見た時6年前見学したのを思い出し編集しました。

(書記コメント)

広島県呉観光を纏められた作品。呉は、海運、海運工廠のまちとして、戦後は瀬戸内有数の臨界工業都市として発展してきた。その様子を隈なく撮影されている。特に、大和ミュージアム（呉市海事歴史博物館）は呉が生んだ世界最大の戦艦「大和」を中心に日本の近代化そのものである、造船、化学技術を紹介されている。特に、1/10の戦艦大和や人間魚雷、「回天」、特殊潜航艇、実物の潜水艇など楽しく拝見しました。

私は、13年前にここを訪れていますので思い出しながら拝見しました。



4. 家康公星田に二度

BD

鉄具嘉夫

9分55秒

(作者コメント)

大阪府交野市の星田には徳川家康が二度来ています。家康にとって、又我が国にとって極めて重要な意味を持つ出来事です。そして、それに関連して星田村のある村長の氏族が二度にわたり世話をしたと言う出来事です。その氏族は700年もの間星田に居住し今も健在です。その出来事は何だったのでしょうか。応仁の乱から150年にわたって続いた戦国の世は終結し、その後200年にわたって平和が続きました。

(書記コメント)

今年は、NHKの大河ドラマの主人公が徳川家康だったりすることもあり、交野市も徳川家康推しの年ということで「大阪夏の陣記念プロジェクト」が、この4月に星田公園で行われた。その模様を撮影されたもの。戦国時代絵巻を拝見しました。



5. 開口神社と菅原神社

BD

上総秀隆

13分20秒

(作者コメント)

9月の例会でのご批評をふまえて次の点を改良しました。ふとん太鼓の乗り子の顔のアップを追加、字幕を動かして目立たせる。御旅所（頓宮）の映像を追加。全体を15分から13分に短縮しました。

(書記コメント)

9月例会の作品を改作されたとのことですので、講評は控えますが、記録として関係者に見せられるには、これで良いと思います。しかし作品とするには、前書記さんが書いておられるように、やはりアップが少ないのが残念です。ロングのカットが長すぎて間延びしてしまいます。別作品として来年もお撮りになって挑戦してみてください。



6. ウェステルダム

BD

坪井仁志

3分40秒

(作者コメント)

よく晴れた日の大阪港は夕陽が最高に美しいです。出入りするタグボート、貨物船やコンテナ船、そしてコロナも落ち着いてクルーズ客船も以前のように多く来るようになってきました。今回はオランダの客船ウェステルダム 82, 348t が来ました。以前のカナ表記ではアムステルダムでしたね。

(書記コメント)

秋の神戸港、夕景をバックに行き交う巨大客船、至福のひとつときですね。こんな客船に一度乗って世界を



クルーズしてみたいですね。トップシーンの風の音気になります。

7. 寛次郎散策のみち **BD**

高瀬辰雄 **9分10秒**

(作者コメント)

以前から、精華町の釈迦の池を撮りたいと思っていました。この秋、訪れたところ、池の立て看板に河井寛次郎のことが書かれており、ちょうど寛次郎記念館が50周年という事が話題になっていることも知り、記念館に行き、館内や陶芸品、彫刻など撮影。この二つを絡ませ作品にまとめました。館内は撮影許可願いにサインするだけで撮影フリーです。

(書記コメント)

京都の清水寺に程近い東山五条大通りから一筋それて路地に入ると、そこは静かな住宅街、車がやっと抜けられるほど狭い道路沿いに、民家が立ち並んでいる。そこにひっそり立っているのが「河井寛次郎記念館」だ。「暮らしが仕事、仕事が暮らし」の言葉を残した「河井寛次郎」の世界を作品にされた。京都にこんなところがあったんだ。よく作品にされました。一度行って見たいところです。



8. おふさ観音 **BD**

中川良三 **5分24秒**

(作者コメント)

藤原京の帰りに榎原神宮に向かう途中にあるお寺さん、道路沿いに「提灯祭り」の看板があり興味本位で入ってみた、あまりお寺のイメージは湧かなかったが境内に入り提灯の数に驚いた。ここは夏には風鈴祭り、春・秋にはバラ祭りや提灯祭りが開かれているそうで地元でも有名である。

(書記コメント)

奈良県榎原市小房町にある「おふさ観音」を撮影されたもの。この観音さんは、春はバラまつり、夏は風鈴まつりでよく知られています。最近になって冬は提灯まつりをはじめられたそうです。その提灯まつりを撮られました。真っ赤な提灯が所狭しと吊り下げられていました。冬は寒いので暖かみを感じました。夏の風鈴まつりもまとめてみてください。



9. 東高野街道① 八幡市から大東市へ **BD**

江村一郎 **11分30秒**

(作者コメント)

東高野街道は京街道から分岐し、石清水八幡宮のある八幡から高野山へとつながる50kmの街道です。数ある高野街道のうち、いちばん東側に位置する。当初から野崎詣りの行われている野崎観音までだったが、枚方市、寝屋川市と進むうち道が分からなくなり、このままでは野崎詣りを撮影できないと途中からJRに乗り野崎に向かう。後日に寝屋川から撮れなかった部分を補った。

(書記コメント)

東高野街道とは、数ある高野街道のうち、一番東側に位置する道筋をいう。今回八幡から大東市をまとめられたものだが、番号をうってあるから、次へと続くのでしょう。

このシリーズは、野崎観音を中心にまとめられています。高野街道として形成され、路肩には、石仏がたくさんあり、仏教信仰が盛んになり、高野山詣りの参拝道として発展していったようです。

